

前回審議会の課題に対する報告書

1. 県内（市）の最新状況

平成27年国勢調査によると、県内において人口が増加をした市は、4市のみという結果となりました。

順位	区分	H27	H22	増減数	増減率
	岐阜県	2,031,903	2,080,773	-48,870	-2.35
	市部	1,719,809	1,756,245	-36,436	-2.07
1	瑞穂市	54,354	51,950	2,404	4.63
2	可児市	98,695	97,436	1,259	1.29
3	美濃加茂市	55,384	54,729	655	1.20
4	羽島市	67,337	67,197	140	0.21
5	各務原市	144,690	145,604	-914	-0.63
6	大垣市	159,879	161,160	-1,281	-0.79
7	岐阜市	406,735	413,136	-6,401	-1.55
8	多治見市	110,441	112,595	-2,154	-1.91
9	関市	89,153	91,418	-2,265	-2.48
10	中津川市	78,883	80,910	-2,027	-2.51
11	本巣市	33,995	35,047	-1,052	-3.00
12	高山市	89,182	92,747	-3,565	-3.84
13	瑞浪市	38,730	40,387	-1,657	-4.10
14	土岐市	57,827	60,475	-2,648	-4.38
15	恵那市	51,073	53,718	-2,645	-4.92
16	郡上市	42,090	44,491	-2,401	-5.40
17	海津市	35,206	37,941	-2,735	-7.21
18	下呂市	33,585	36,314	-2,729	-7.52
19	飛騨市	24,696	26,732	-2,036	-7.62
20	美濃市	20,760	22,629	-1,869	-8.26
21	山県市	27,114	29,629	-2,515	-8.49

2. 瑞穂市 子育て世代に選ばれる田園都市…

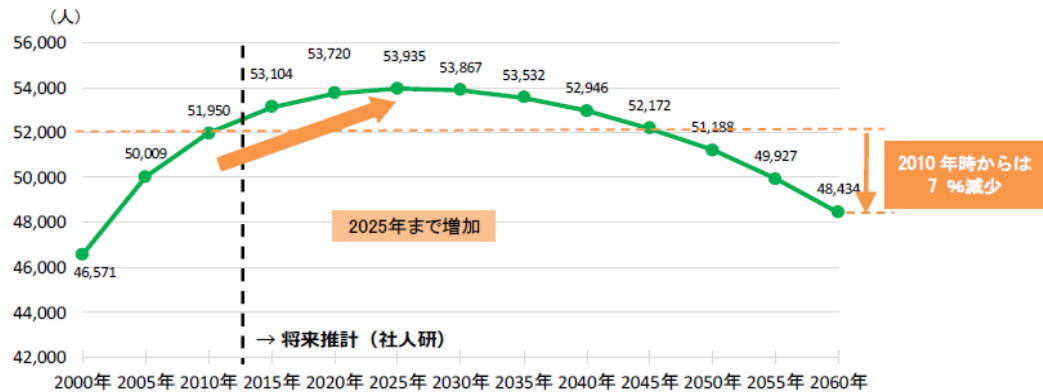
○瑞穂市の概要

瑞穂市は、岐阜県の南西部に位置し、岐阜市と大垣市の間に位置しています。

また、名古屋市への電車で約30分の通勤圏にある田園住宅都市として、恵まれた位置的条件や交通条件を背景に住宅開発が進んでおり、県内有数の高い人口増加率を示している地域です。

○人口の推移など

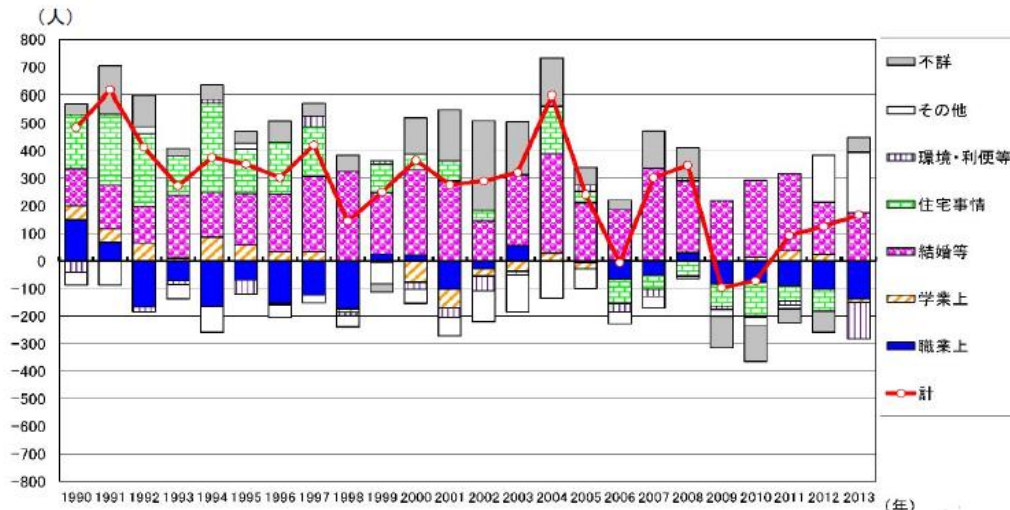
図表1 人口の推移



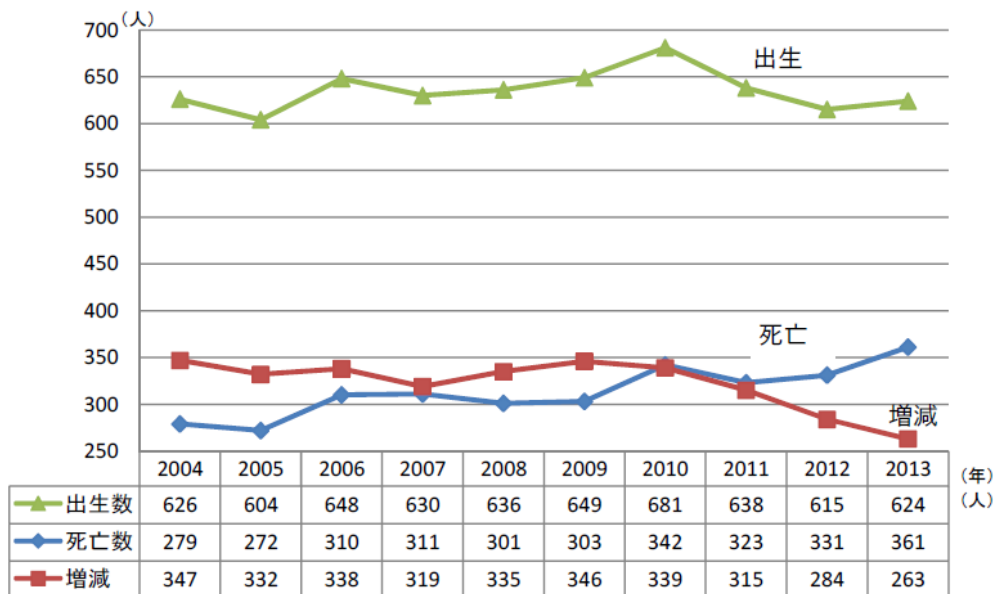
2008年以降のリーマンショックの影響による外国人の県外転出による増加を除き、地理的条件や交通条件の良さなどによる通勤、通学のしやすさなどから、特に結婚を理由とした20代と30代の県内からの転入が多くなっており、このことが今後長期にわたり瑞穂市の人口を支えていくこととなります。

20代～30代の転入により、当面の間、出生者数が死亡者数を上回っていくことが

図表10 移動理由別転入転出差の推移



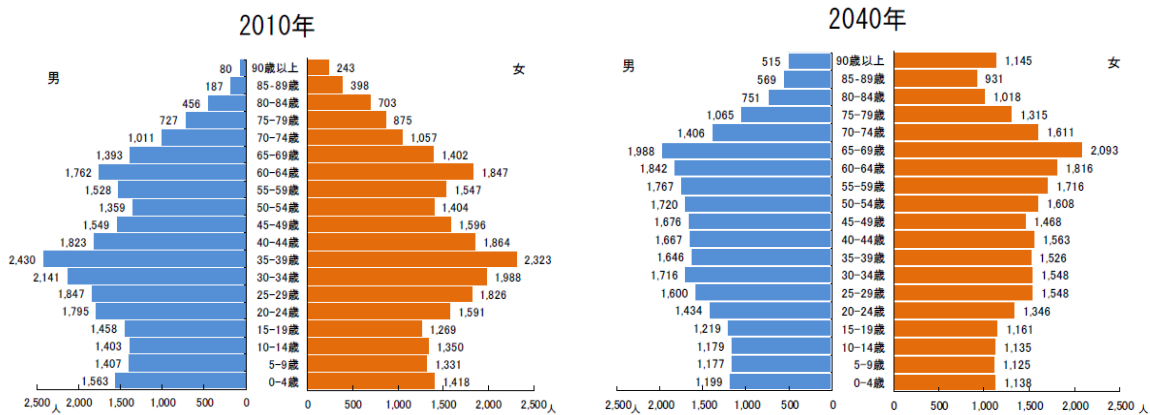
図表6 瑞穂市の自然動態



予測されます。

このことにより、30年後においても人口バランスの崩れが大きくないことがわかります。

図表2 男女別5歳階級別人口の推移



3. 可児市 経済状況が人口に影響を与えるまち…

○可児市の概要

名古屋市や岐阜市から 30km 圏内にあり、かつ、JR や名鉄などにより公共交通等の条件整った場所に位置しています。北部はおおむね平坦で、南部は県下最大級の工業団地、住宅団地やゴルフ場が点在する丘陵地となっています。

○人口の推移

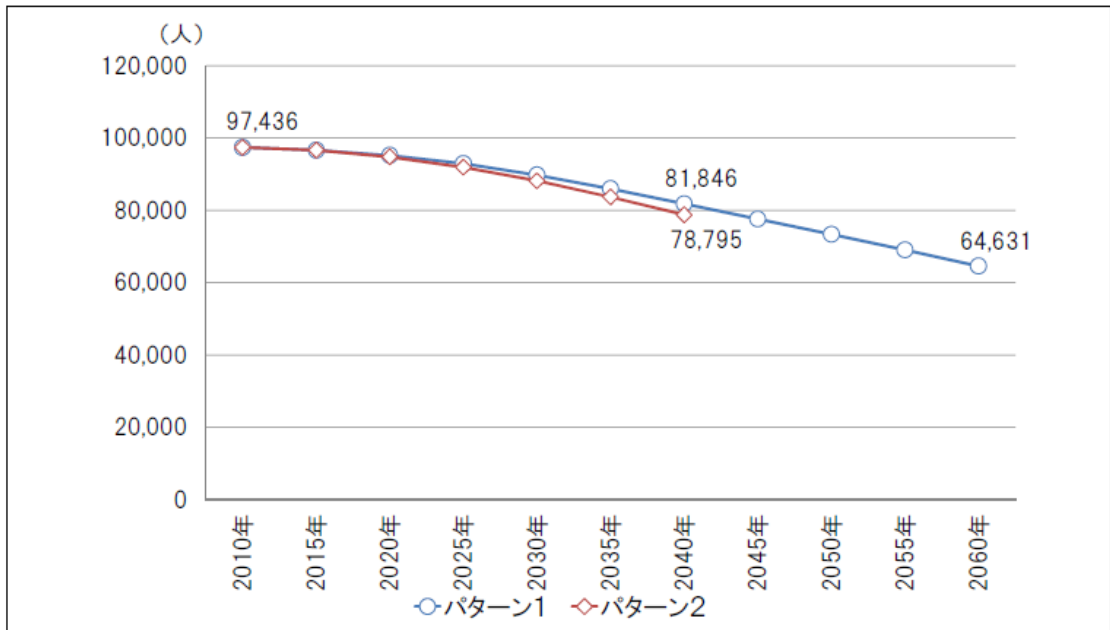
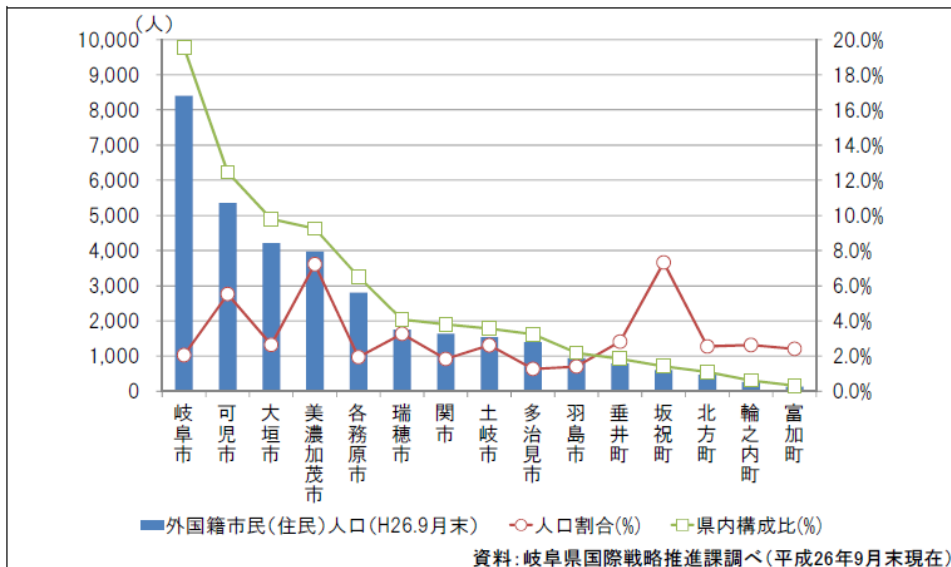


図: 将来人口推計結果

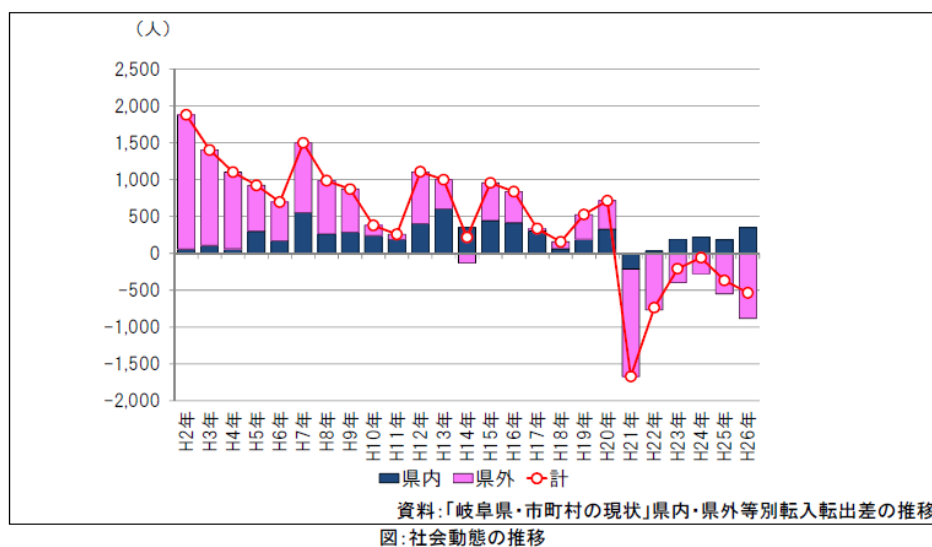
可児市は、県下最大級の工業団地を背景に、外国人人口が県内では、岐阜市に続き2番目に多くなっています。また、外国人の全人口に対する割合も、坂祝町、美濃加茂市について、3番目に多い割合となっています。



資料: 岐阜県国際戦略推進課調べ(平成26年9月末現在)

リーマンショック以降外国人労働者の転出が多くなっていましたが、景気の回復により転出した外国人労働者が戻りつつあります。平成22年からの5年間で1,295人の転入がありました。うち814人が外国籍の方となっています。

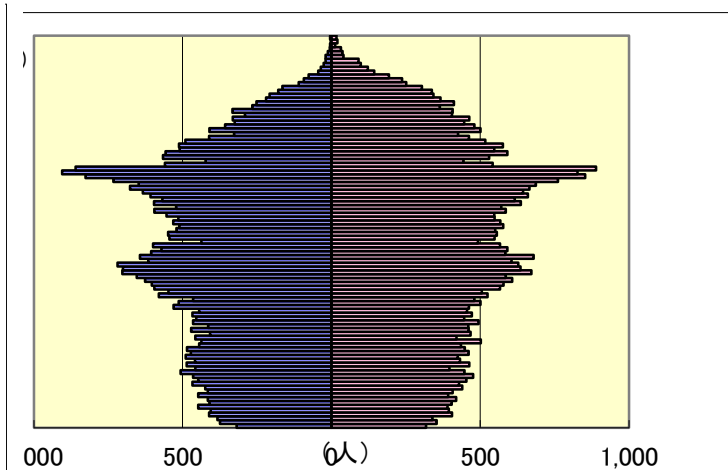
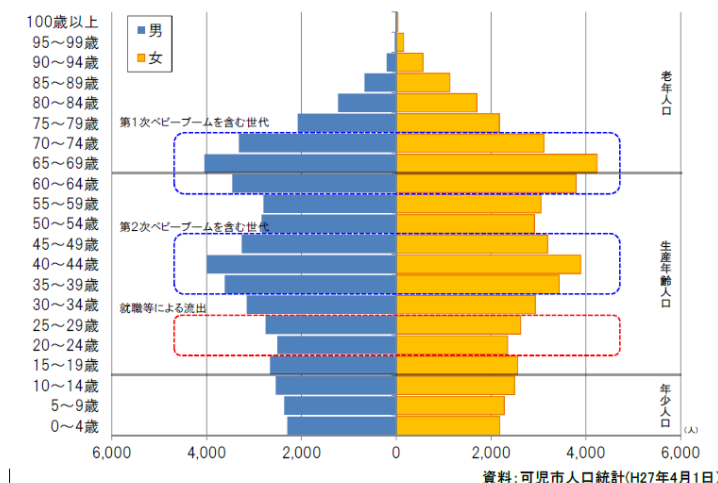
前年度作成した人口ビジョンでは、減少が見込まれておりましたが、この外国人の動向が要因となって人口が増加したものと思われます。



可児市と関市の人口ピラミッド（平成27年4月1日現在）は、概ね国全体の人口ピラミッドとよく似た形をしている。

■可児市人口ピラミッド

■関市の人口ピラミッド

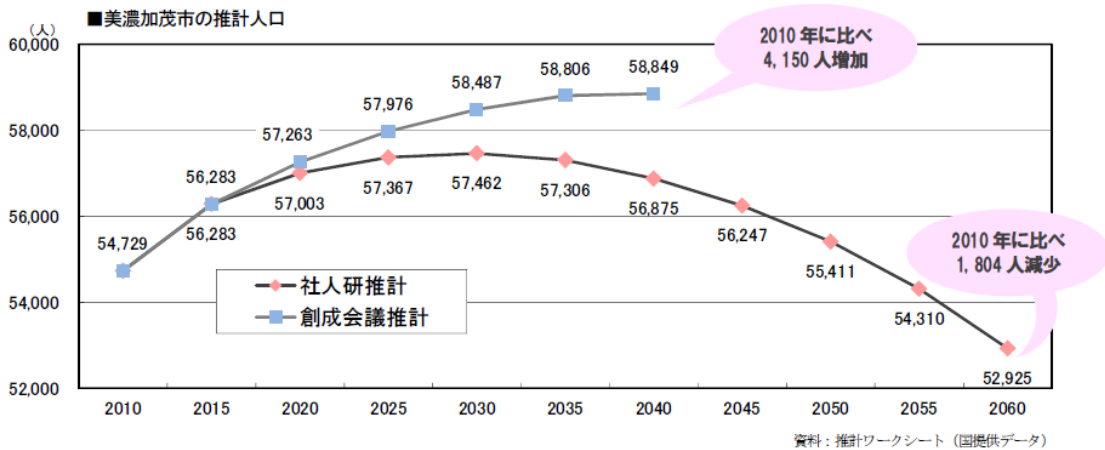


4. 美濃加茂市 人口ダム機能と工業化によって変わるまち…

○美濃加茂市の概要

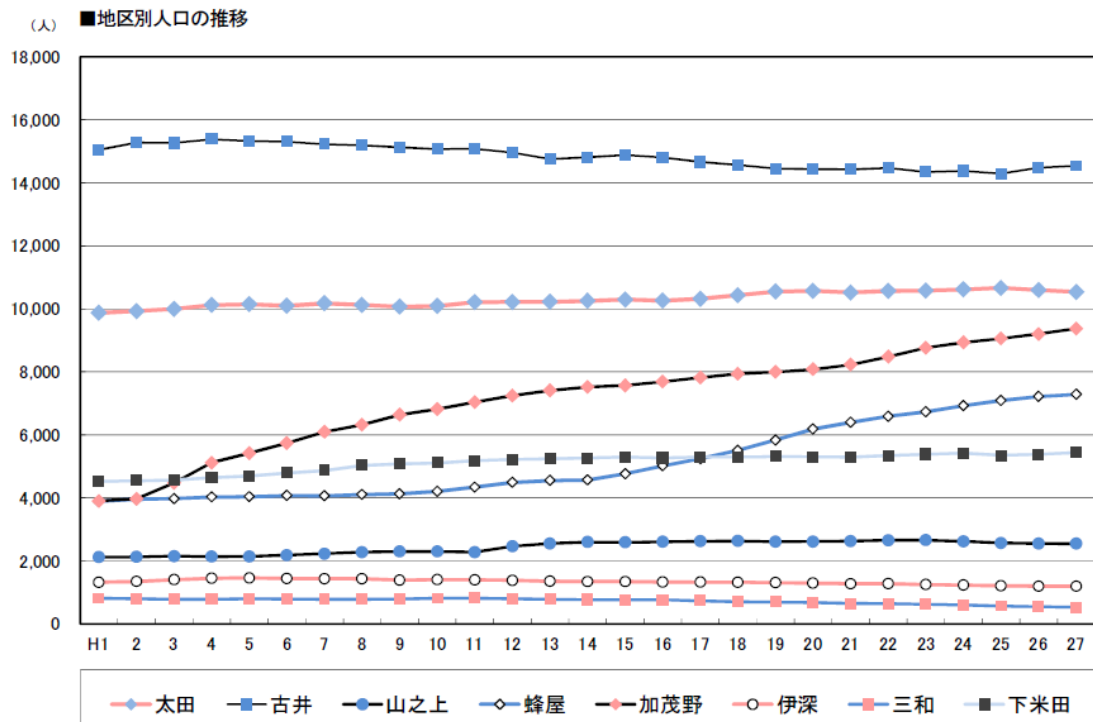
県中南部に位置し、国道21、41、248号線や、東海環状自動車道美濃加茂IC、JR 美濃太田駅、長良川鉄道など交通の要所となっており、近隣の商業中心地として栄えてきたが、工場誘致により、電子機器、工作機械など先端産業の進出が相次ぎ工業都市として転身しています。

また、名古屋市の30km圏内に位置しています。



○人口の推移など

蜂屋地区では、区画整理事業（中部台）による宅地開発、太田、山之上、下米田、加茂野地区では民間の宅地開発による人口増加が続いていましたが、平成27年頃を境に成長が鈍化することが予測されています。



■市区町村別転入数の状況

美濃加茂市への転入数 (8,615人)			
自治体名		人数(人)	割合(%)
岐阜県	可児市	1,416	28.1
国外		1,029	20.4
岐阜県	関市	492	9.8
岐阜県	岐阜市	389	7.7
岐阜県	各務原市	375	7.4
愛知県	名古屋市	330	6.6
岐阜県	川辺町	270	5.4
岐阜県	坂祝町	260	5.2
岐阜県	多治見市	183	3.6
岐阜県	御嵩町	162	3.2
岐阜県	下呂市	155	3.1
岐阜県	八百津町	136	2.7
岐阜県	白川町	135	2.7
岐阜県	富加町	112	2.2
愛知県	犬山市	112	2.2
岐阜県	高山市	108	2.1

資料：国勢調査（平成22年）
※100人以上を抜粋

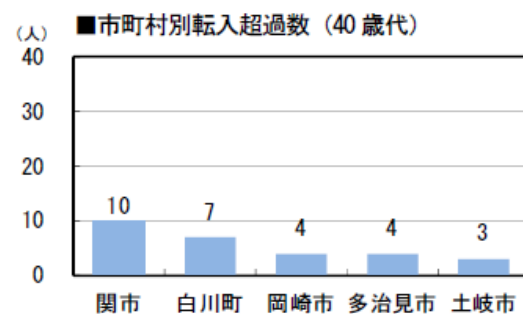
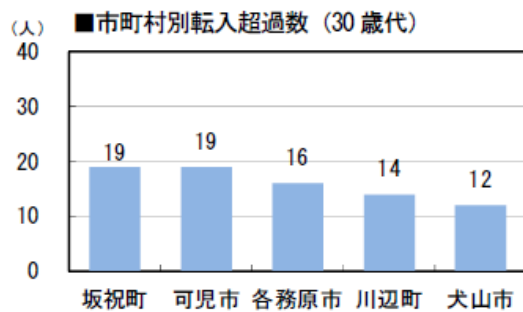
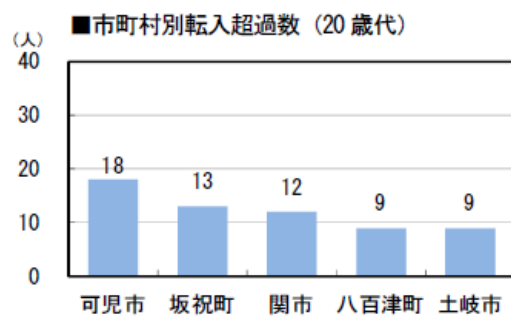
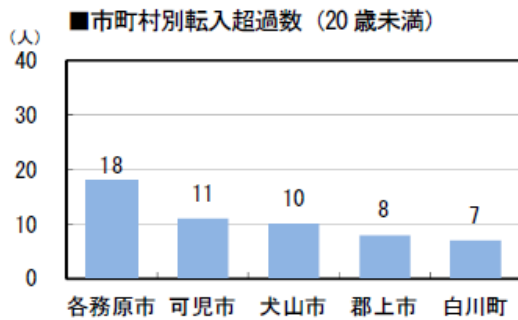
■市区町村別転出数の状況

美濃加茂市外への転出数 (6,704人)			
自治体名		人数(人)	割合(%)
岐阜県	可児市	897	15.7
岐阜県	関市	345	6.0
愛知県	名古屋市	325	5.7
岐阜県	岐阜市	312	5.5
愛知県	各務原市	264	4.6
岐阜県	川辺町	196	3.4
岐阜県	坂祝町	190	3.3
岐阜県	御嵩町	128	2.2
愛知県	犬山市	118	2.1
岐阜県	八百津町	112	2.0
岐阜県	多治見市	111	1.9
岐阜県	富加町	104	1.8

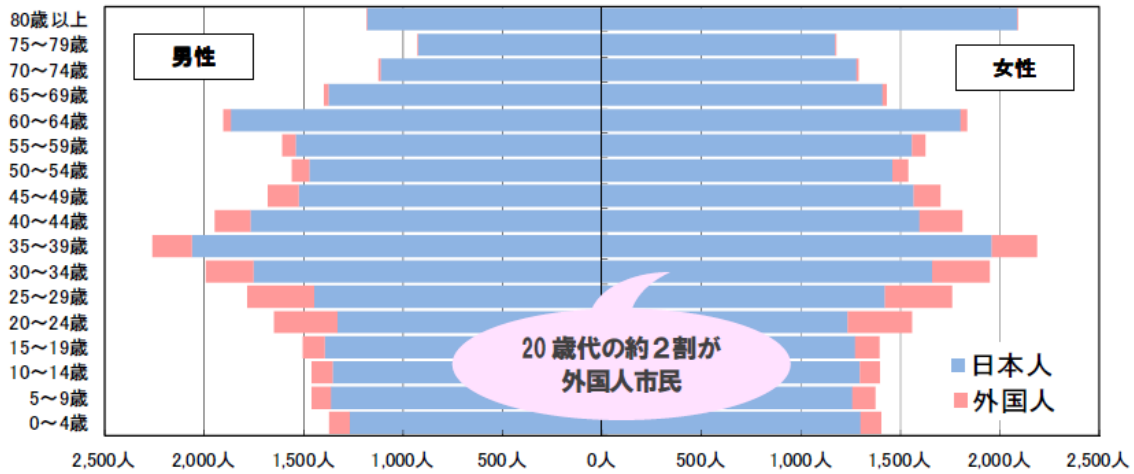
資料：国勢調査（平成22年）
※100人以上を抜粋

関市、可児市は転入、転出ともに多くなっていますが、川辺町、坂祝町、八百津町、白川町、富加町などの加茂郡からの比較的若い世代の転入が多くなっています。これは、加茂郡の人口流出に対するダム機能を有しているといえます。

また、外国人の転入者が多いのが特徴となっています。

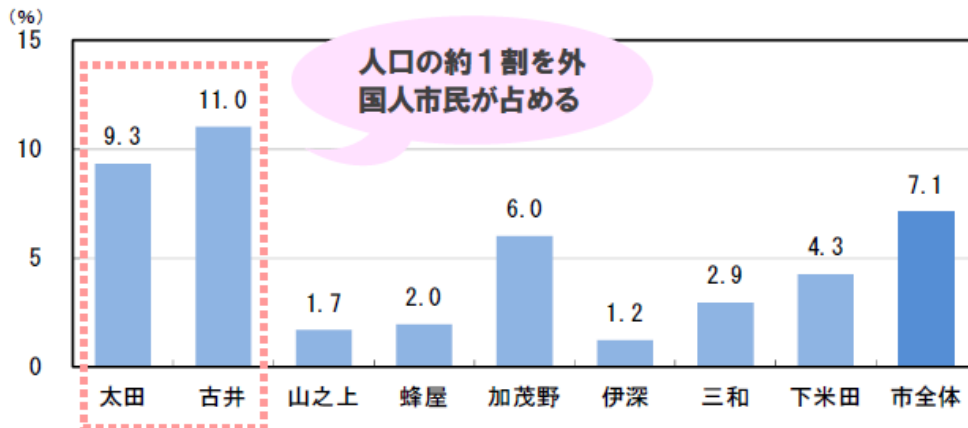


■人口ピラミッド（平成 22 年）



また、特徴的なのが、人口ピラミッドのうち 20 代から 40 代にかけて外国人人口が多くなっています。特に 20 代の約 2 割が外国人となっています。人口に占める外国人割合が、1 割程度の地区も存在しています。

■地区別の外国人市民割合



資料：美濃加茂市 行政地区別人口（平成 27 年 4 月 1 日）